

<h1>週 報</h1>	2022年9月18日 第25号 (創立1907年12月8日) 日本基督教団 洛北教会 主任担任教師 岡本知之	〒603-8146 京都市北区鞍馬口通寺町西入下ル 285-83 Tel 075(231)6676 Fax (223)5505 <a href="http://rakuhoku-church.com">http://rakuhoku-church.com</a>
--------------	---	--

<p>三位一体後第14主日</p> <p>前 奏 礼拝招詞 讃 美 主の祈り 使徒信条</p> <p>聖書朗読 間 奏 祈 禱 説 教 献 金 報 告 頌 栄 黙 禱 後 奏</p>	<p style="text-align: center;">10時45分</p> <p style="text-align: right;">司式 石橋真人 奏樂 中西百合</p> <p>(一同起立) 494 (564)</p> <p>司式者：我らはかく信じ、代々の聖徒と共に、使徒信条を告白。 一同：我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女 マリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、身体<small>とこしへ</small>のよみがへり、永遠<small>いのち</small>の生命を信ず。 アーメン</p> <p>マルコによる福音書1章21~45節 (新約聖書62頁)</p> <p style="text-align: right;">岡本知之牧師 岡本知之牧師</p> <p>「癒やす權威」 (感謝と献身のしるし)</p> <p>541</p>	<p style="text-align: center;">礼拝招詞</p> <p>いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。</p> <p style="text-align: center;">テサロニケの信徒への手紙一 5章16~18節</p> <p style="text-align: center;">&lt;本日の集会&gt;</p> <p>*青年会5分間集会 礼拝直後 *教師会 礼拝後</p> <p style="text-align: center;">&lt;今週の集会&gt;</p> <p>*聖書研究・祈禱会 21日(水) 聖書研究 岡本知之牧師 コヘレトの言葉5章2~6節 10時半 司会 大濱五十鈴 19時半 祈 禱 会</p> <p>*「説教黙想」を読む会 24日(土) 14時~</p>	<p style="text-align: center;">&lt;報 告&gt;</p> <p>*現在、集合礼拝を再開していません。教会学校は朝10時より礼拝のみ、朝の聖書研究会、夜の祈禱会、「説教黙想」を読む会は通常通り行われております。</p> <p>「短縮礼拝」の間はYouTubeによるライブ配信も続けますので、体調の優れない方、礼拝出席が困難な方は、遠慮なくご家庭にて共に礼拝をお守り下さい。</p> <p>*次週25日に予定されております「召天者記念礼拝」は、礼拝の中で召天者を覚え、説教と祈禱がなされます。午後からの「追悼集会」は中止とさせていただきます。</p>
---	---	--	---

＜説教黙想＞

「乗り超える命」

40 節に「重い皮膚病を患っている人が、イエスのところに来てひざまずいて願い、『御心ならばわたしを清くすることがおできになります』と言った」とあります。この「重い皮膚病」の原語はいわゆる「レプラ」であって、伝統的に「らい病」と表記されてきた。

イスラエルの律法では、この病に罹った者は常に町の外にいて、人々に近づいてはならなかった。その意味でこの人の行動は既に律法違反であった。そしてこの人が言う。「御心ならば、わたしを清くすることがおできになります」と。

律法の規定を乗り越えてイエスに近づいた人が、自分の存在のすべてをイエスの側に投げかける。そこにあるのはイエスに対する信頼であろう。それにたいしてイエスは答える。①「深く憐れんで」、②「手を差し伸べてその人に触れ」、③「よろしい、清くなれ」と言われた。

この「深く憐れんで」はいわゆる「スプランクニゾマイ」で、善きサマリヤ人の譬えに出るものと同じである。直訳すれば「肝が震えて」となる。イエスの内臓がこの人の苦しみに同調したということである。

そしてイエスはこの人にお触れになる。これも律法では禁止されていることであった。この病に罹っている人は常に「自分はレプラに罹っている。誰も近づくな」と言いつつ、集団の外で生きなければならなかったのである。

そして最後にイエスは言われる。「よろしい、清くなれ」。「よろしい」は「わたしは望む」という言葉であって、このひとの「御心ならば＝あなたが望むなら」に対応している。「あなたが望んで下さるなら」とイエスの前にひざまづいたこの人に対して「わたしは望む」と力強くお答えになったイエスの愛が感じられます。

聖書の神は、このようにわたしたち達の苦しみに近づき、触れて下さる神なのです。

＜会計報告＞

(9月11日分)

\* 礼拝に出席できない方の礼拝献金、月次献金、感謝献金等は、教会に直接ご持参頂くか、郵便振替、銀行振込にてお捧げ下さい。

＜次週の案内＞

三位一体後第15主日

(召天者記念礼拝)

9月25日

10時45分

説教 「論争の中で」

岡本知之牧師

司式 井上 直

聖書 マルコによる福音書

2章1～22節

讃美 377

奏楽 三浦真実子

9月当番役員

太田 稔

＜集会統計＞

(9月10日～9月16日)

日	曜	集会	男	女	計
10	土	説教黙想	3	2	5
11	日	主日礼拝	23	29	52
		教会学校	5	5	10
		幼稚科	4	3	7
		小学科	0	1	1
		中高科	1	1	2
		入門講座	—	—	—
14	水	朝の聖研	3	8	11
		祈 禱 会	4	0	4